

## 平成24年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ  
 コード番号 8886 URL <http://www.woodfriends.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 中島 崇  
 四半期報告書提出予定日 平成23年10月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 052-249-3504

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年5月期第1四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第1四半期	4,862	2.1	△36	—	△101	—	△127	—
23年5月期第1四半期	4,760	△38.6	123	△62.1	71	△68.8	0	△99.9

(注) 包括利益 24年5月期第1四半期 △115百万円 (—%) 23年5月期第1四半期 10百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第1四半期	△8,749.28	—
23年5月期第1四半期	5.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年5月期第1四半期	21,309	3,967	18.3	268,587.72
23年5月期	20,470	4,185	20.2	284,337.38

(参考) 自己資本 24年5月期第1四半期 3,908百万円 23年5月期 4,137百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	7,000.00	7,000.00
24年5月期	—	—	—	—	—
24年5月期(予想)	—	0.00	—	10,000.00	10,000.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,414	9.8	733	19.2	574	16.9	306	36.6	21,028.04
通期	28,757	3.0	1,653	34.3	1,306	31.7	719	39.1	49,409.02

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期1Q	14,800 株	23年5月期	14,800 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年5月期1Q	248 株	23年5月期	248 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期1Q	14,552 株	23年5月期1Q	14,552 株
----------	----------	----------	----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.2「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により総じて厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの回復に伴い、企業の生産活動に持ち直しの動きが見られました。しかし、依然として厳しい雇用情勢や海外景気の動向等、先行きに対する懸念材料は払拭されないまま推移しました。

不動産業界においては、新設住宅着工戸数が全体として緩やかな増加傾向にあります。伸び悩む所得環境や高水準な失業率等を背景として、引き続き厳しい状況となりました。

このような状況下、当グループの主力事業であります住宅事業では、住宅供給プラットフォームを形成するための中核機能を担う岐阜工場の稼働に向けて準備を進めてまいりました。

また、当グループの不動産事業に関するポートフォリオ構築の一環として、東京支店を平成23年8月に開設しました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

#### ① 住宅事業

一部の物件について、販売価格を見直すとともに事業期間の短縮に取り組んでまいりました。売上高は4,351百万円(前年同期比1.9%増)、営業損失は16百万円(前年同期は169百万円の利益)となりました。

#### ② AM(アセットマネジメント)事業

業績は概ね堅調に推移しました。売上高は442百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益は98百万円(前年同期比21.4%増)となりました。

#### ③ その他の事業

生活関連ビジネスでは、不採算店舗の一部について営業を終了しました。売上高は83百万円(前年同期比16.9%減)、営業損失は16百万円(前年同期は27百万円の損失)、となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結会計期間の売上高は4,862百万円(前年同期比2.1%増)、営業損失は36百万円(前年同期は123百万円の利益)、経常損失は101百万円(前年同期は71百万円の利益)、四半期純損失は127百万円(前年同期は0百万円の利益)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の取得を主な要因として、前連結会計年度と比較して838百万円増加し、21,309百万円となりました。

#### ② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得に伴う借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度と比較して1,055百万円増加し、17,341百万円となりました。

#### ③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度に係る配当金の支払を主な要因として、前連結会計年度と比較して217百万円減少し、3,967百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年7月15日付の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,184,918	1,654,504
完成工事未収入金	60,513	50,194
売掛金	87,496	64,967
販売用不動産	6,350,457	8,366,143
仕掛販売用不動産	5,498,766	5,504,418
商品	7,408	6,721
未成工事支出金	1,503,788	1,669,467
原材料	36,193	41,978
その他	655,502	843,717
流動資産合計	17,385,046	18,202,113
固定資産		
有形固定資産	2,665,222	2,667,627
無形固定資産	65,974	58,925
投資その他の資産	354,669	380,361
固定資産合計	3,085,866	3,106,914
資産合計	20,470,913	21,309,028
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	1,840,902	1,540,049
買掛金	148,400	98,024
1年内償還予定の社債	186,800	186,800
短期借入金	9,444,920	11,012,452
1年内返済予定の長期借入金	263,151	257,098
未払法人税等	272,083	34,892
賞与引当金	4,163	34,867
完成工事補償引当金	91,374	86,674
その他	647,892	606,608
流動負債合計	12,899,688	13,857,466
固定負債		
社債	733,200	699,800
長期借入金	1,939,930	2,087,877
退職給付引当金	6,044	6,214
役員退職慰労引当金	105,800	107,423
資産除去債務	5,628	5,643
その他	595,526	576,632
固定負債合計	3,386,129	3,483,590
負債合計	16,285,817	17,341,056

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	269,495	269,495
利益剰余金	3,629,512	3,400,328
自己株式	△40,454	△40,454
株主資本合計	4,137,677	3,908,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△5
その他の包括利益累計額合計	—	△5
少数株主持分	47,418	59,483
純資産合計	4,185,095	3,967,971
負債純資産合計	20,470,913	21,309,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
売上高	4,760,297	4,862,201
売上原価	4,044,073	4,228,759
売上総利益	716,223	633,441
販売費及び一般管理費	593,222	669,996
営業利益又は営業損失(△)	123,000	△36,555
営業外収益		
受取利息	76	207
受取手数料	2,819	5,161
違約金収入	3,277	—
その他	2,875	6,818
営業外収益合計	9,048	12,187
営業外費用		
支払利息	47,865	72,594
資金調達費用	9,599	1,008
その他	3,344	3,804
営業外費用合計	60,809	77,407
経常利益又は経常損失(△)	71,240	△101,774
特別損失		
固定資産除却損	247	—
減損損失	3,043	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	852	—
特別損失合計	4,143	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	67,096	△101,774
法人税等	56,562	13,479
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	10,533	△115,254
少数株主利益	10,451	12,064
四半期純利益又は四半期純損失(△)	81	△127,319

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	10,533	△115,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△445	△5
その他の包括利益合計	△445	△5
四半期包括利益	10,088	△115,260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△363	△127,325
少数株主に係る四半期包括利益	10,451	12,064

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	4,271,546	402,351	86,399	4,760,297	—	4,760,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	164	13,562	13,757	△13,757	—
計	4,271,576	402,516	99,962	4,774,054	△13,757	4,760,297
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	169,727	81,393	△27,317	223,803	△100,802	123,000

- (注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。
- 2 セグメント利益の調整額△100,802千円には、セグメント間取引消去6,181千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△106,984千円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	4,351,264	441,890	69,046	4,862,201	—	4,862,201
セグメント間の内部売上高 又は振替高	283	748	14,024	15,056	△15,056	—
計	4,351,547	442,639	83,071	4,877,258	△15,056	4,862,201
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△16,944	98,798	△16,749	65,104	△101,659	△36,555

- (注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。
- 2 セグメント利益の調整額△101,659千円には、セグメント間取引消去5,931千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△107,590千円が含まれています。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。